

## 平成30年度 鎌ヶ谷市健康づくり推進協議会会議録

開催日時 平成31年2月7日（木） 午後1時30分から午後2時30分まで

開催場所 総合福祉保健センター4階会議室

出席委員 石川 宏貴会長・赤井 淳二副会長・久保 秀一委員（代理 郷右近 初女氏）・  
滝口 順子委員・吉野 たず子委員・今市 由美子委員・林 宏幸委員・  
関根 延年委員（代理 市村 昌子氏）

欠席委員 石川 広己委員・藤浪 民子委員

事務局 健康増進課菅井課長・本間主幹・館岡母子保健係長・鎌田予防係長・舟波成人保  
健係長・山口主任栄養士・氏家歯科衛生士

傍聴者 0人

配布資料 ・平成30年度かまがや福祉健康フェア開催報告及び平成31年度参加について  
（案）（資料1）  
・「第二次いきいきプラン・健康かまがや21」の進捗状況について（資料2）  
・平成30年度食育推進部会事業及び平成31年度事業計画（案）（資料3）  
・「第二次いきいきプラン・健康かまがや21」概要版（追加資料）  
・《鎌ヶ谷市報道発表》風しんの予防接種費用助成事業の実施について（追加資  
料）  
・《鎌ヶ谷市報道発表》かまがや安心医療ナビの開設について（追加資料）

議題等 （1）平成30年度かまがや福祉健康フェア開催報告及び平成31年度参加に  
ついて（案）  
（2）「第二次いきいきプラン・健康かまがや21」の進捗状況について  
（3）第2次鎌ヶ谷市食育推進計画及び食育推進部会の平成30年度事業実績  
及び平成31年度事業計画（案）について  
（4）その他

### 会議の概要

1 課長あいさつ

2 議題

会議録署名人の選任について

会議録署名人に今市委員、林委員を指名（名簿順）

（１）平成３０年度かまがや福祉健康フェア開催報告及び平成３１年度参加について

石川会長： 議題１、平成３０年度かまがや福祉健康フェア開催報告及び平成３１年度参加について、事務局説明をお願いします。

事務局： 平成３０年度福祉健康フェアは「支えあい 広がれ 福祉と健康の輪」をテーマに昨年１０月２１日開催され、お忙しい中、鎌ヶ谷市医師会、船橋歯科医師会、船橋薬剤師会、船橋市栄養士会皆様のご協力をいただきまして実施することができました。ありがとうございます。入場者は天候にも恵まれ、新たな試みとしてステージ発表を実施し、若年層の参加があり、２，１００人と前年度より２００人増加しました。

健康づくり推進協議会と致しましては、資料１の片カッコ８健康づくり推進協議会の内容②の通りです。医師会、歯科医師会、薬剤師会、栄養士会の先生のご協力をいただいた相談コーナーでは、相談者が途切れることなく大盛況でした。

今年度も昨年度に引き続き、認定ＮＰＯ法人健康都市活動支援機構と協働しました。認定ＮＰＯ法人健康都市活動支援機構とは、鎌ヶ谷市が平成１６年に加盟した健康都市日本支部の活動支援をしている団体です。食生活改善協議会のコーナーでは試食の材料費・レシピの作成、食生活改善推進員ＰＲ用のティッシュの作成・提供を、健康づくりボランティアコーナーでは健康づくりボランティアのＰＲ用のティッシュ作成・提供をしていただきました。

平成３１年度につきましても福祉健康フェアが開催されることとなりましたので、多くの市民の皆様の健康づくりへの啓発の機会となりますことから、健康づくり推進協議会として参加を予定しております。開催予定日は１０月２０日、日曜日となっております。全体の開催テーマ・内容等につきましては、平成３１年度の実行委員会で随時決定されますが、健康づくり推進協議会としましては、昨年と同様に、全体像は「自分のからだを知って、いきいき健康づくり」とし、内容につきましては、相談・計測・展示・体験等で参加したいと考えております。また、認定ＮＰＯ法人健康都市活動支援機構との協働も今年度同様に行う予定になっております。

来年度も、ご多忙中とは存じますがご協力をよろしくお願いいたします。

福祉健康フェア参加については以上です。

石川会長： ただ今の「平成３０年度かまがや福祉健康フェア開催報告及び平成３１年度参加について」、ご意見、ご質問等ございますか。

石川会長： 具体的な内容はこれからということによろしいでしょうか。

事務局： はい、これからになります。

石川会長： ほかに、ご意見等ございますか。

(2) 「第二次いきいきプラン・健康かまがや21」の進捗状況について

石川会長： それでは、次の議題2、「第二次いきいきプラン・健康かまがや21」の進捗状況について事務局より報告をお願いします。

事務局： まず初めに、「第二次いきいきプラン・健康かまがや21」についての概要をご説明いたします。

資料は、「第二次いきいきプラン・健康かまがや21」の概要版をご覧ください。この計画は、平成23年度から32年度までを計画期間としております。2ページ中ほどに第二次計画の位置づけが書いてございますが、本計画は、鎌ケ谷市総合基本計画の施策のひとつである『健康を支える保健・医療の充実』の行動計画として、策定されたものです。

次に計画の構成をご覧ください。本計画では、【健康づくり領域】として、5つの領域がございます。また、それぞれの領域には、特に力を入れて取り組む項目として【重点対策】を設けています。

3ページをご覧ください。この図は計画全体のイメージです。一番上に『鎌ケ谷市総合基本計画』がございまして、「誰もが健康に暮らせる生涯福祉社会の実現」を目指しております。次に「いきいきプラン・健康かまがや21」と「食育推進計画」がございまして、

また、中ほど、黒い部分の「健康づくりの各領域」の下に、健康づくりを支える地域医療がございまして、毎年、地域医療の動きについても確認しているところでございます。

以上が、計画の大きな概要となっておりますが、各領域の概要につきましては、5ページ以降を参照していただければと思います。

では、資料2をご覧ください。平成30年度までの進捗状況の報告をいたします。

1ページに進捗状況の概要として、各領域の重点対策をまとめました。次に2ページ以降は、「健康づくりの各領域」の詳細となっております。左側には、計画書に書かれていること、及び計画の推進を開始した平成23年度に取り組んだこと、そして右側へ順に平成28年度、29年度、30年度中に取り組んだことが並んでおります。平成30年度のところを見ていただくと、ところどころ太字の部分がございまして、これは、これまでの取組に加えて、拡充や、新たに取り組んだこととなります。

それでは、1ページに戻っていただき、各領域の重点対策について、進捗状況の内容をご説明いたします。

まず「栄養・食生活」につきましては、重点対策は「食育の推進」となっております。第2次食育推進計画（平成28年度から32年度）に基づき、「朝食を食べる人を増やす」など、若い世代が、正しい食生活を実践するための支援に、重点的に取り組みました。新たな平成30年度の取組と

いたしましては、親子を対象として体験型の事業を増やし、すこやかライフ親子クッキングの開催や、「みんなの食育祭り」においては親子で参加できる調理実習や食育クイズなども実施いたしました。その結果、「みんなの食育まつり」では、参加者181名中、若い世代の方が83名と、昨年度と比較して7パーセント増加いたしました。若い世代、親子の参加が増え、取り組むべきことを確認して、行動変容をするきっかけをつくることができました。来年度の取組につきましては、議題3で説明させていただきます。

次に《身体活動・運動》の重点対策の1つ目、「気軽に日常生活で運動をする環境づくりの推進」につきましては、NPO法人健康都市活動支援機構との協働事業により、自主ウォーキング団体やきらり鎌ヶ谷体操指導者、ヘルスマイト等と共にウォーキング講座を実施し、運動・栄養・交流を併せた啓発を行いました。

また、重点対策の2つ目、「きらり鎌ヶ谷体操の普及啓発」については、きらり鎌ヶ谷体操指導者の活動を支援し、依頼のあった外部団体での定期的な普及を3団体で実施したほか、小学校等でも普及を行い、参加者が増加いたしました。来年度も引き続き、今年度と同様に身体活動・運動の推進に取り組んでまいります。

次に《休養・こころの健康づくり》の重点対策の1つ目、「親子のふれあいを大切にする活動の推進」では、主に毎月行われる4か月児健康相談に来所される保護者と赤ちゃんを対象に、「絵本の読み聞かせ」を通して親子のふれあいの大切さを伝える、『ブックスタート事業』を子育て支援センターや図書館と共に実施しております。以前より参加しているニコカマフェスでは、図書館と連携したお話会を開催しました。また、平成30年度はボランティアの継続研修会で、事例検討を取り入れたグループワークを行い、育児支援ボランティアとしての意識を向上させ、知識を深めることにつながりました。

来年度は、新規ボランティアの育成を行い、さらに新たな活動の場を検討していきたいと考えております。

重点対策の2つ目「自殺予防対策の推進」では、新たに基幹相談支援センターえがおを会議のメンバーに加え自殺対策連絡会議を実施いたしました。それに加え、今年度は全庁的に自殺対策計画策定に向けた説明会を実施し、その結果、自殺対策についての啓発が図れ、計画策定に向けての準備を行うことができました。

また、窓口の職員が来所した相談者の自殺直前のサインに気づき、できるだけ早い段階で、複数の相談機関と連携し、その悩みを早期に解決することができるよう「気づいてつなぐシート」を作成し、昨年度実施した試行での意見をもとに修正を行い、全庁的に運用を開始いたしました。

来年度も引き続き、自殺予防対策の推進を図ってまいります。自殺対策計画につきましては、第3次いきいきプラン・健康かまがや21に統合し、策定していく予定です。

次に《歯と口の健康づくり》の重点対策の1つ目、「永久歯のむし歯と歯周病予防の推進」では、船橋歯科医師会のご協力をいただき、市の実施計画事業である「フッ化物洗口事業」を継続し、フッ化物洗口対象者を全小学校において毎年1学年ずつ拡大しております。平成30年度は、市内の保育園・幼稚園の4歳から小学5年生まで、そして、小中学校の特別支援学級の児童生徒が実施しております。また、新たに保育園1園でも洗口が開始され、現在では、27施設6,185人が洗口を実施しており、確実に子どもたちのむし歯は減少しております。小学6年生のむし歯数で見ますと、計画策定時の平成22年度に一人平均0.74本だったものが、平成30年度には0.34本と年々減少してきております。

また、歯周病予防の推進では、若い時からの歯周病予防を推進するため、歯周病検診の20歳・30歳の未受診者に対して、受診勧奨を実施し、若い世代からの予防の意識付けにつながりました。

重点対策の2つ目「口からはじめる「食育」の推進」につきましては、特定健診の問診項目に「噛むこと」に関する事項が追加されたため、特定保健指導時に肥満や糖尿病予防につながる食行動のあり方として、「一口30回以上噛むこと」の大切さについて、リーフレットを配布し、周知しました。また、特定保健指導の会場において、噛むことの大切さに関する展示を行いました。

来年度は、フッ化物洗口事業は小学1年生から6年生まで実施する予定です。これにより、4歳児から小学6年生までフッ化物洗口を実施できることとなります。

また、歯周病健診につきましては、引き続き若い層への働きかけを行い、受診勧奨や健康教育等で受診勧奨を行ってまいります。

今後、第3次いきいきプラン・健康かまがや21の計画策定を予定しており、平成28年度より休会していた、歯と口の健康づくり推進部会を、来年度から、計画策定のために再開する予定となっております。

次に《疾病予防》の重点対策の1つ目、「生活習慣病予防の推進（がん対策）」につきましては、肝炎ウイルス検査のフォローアップ事業を開始し、陽性者が早期に治療に結び付くよう体制を整えました。また、子宮がん検診では、受診期間を2期に分け、受診者が集中する時期を分散させた結果、意識が高まり、平成30年12月末現在で、昨年の受診者数を上回っております。

重点対策の2つ目、「生活習慣病予防の推進（特定健康診査・特定保健指導）」では、継続受診を促すため、前年度受診者及び40歳の受診者の自己

負担を軽減する「ワンコイン受診」を開始いたしました。また、特定保健指導参加のきっかけ作りとして、継続実践ができる健康グッズ等の配布を通して生活改善につながるよう支援し、バランスメニューの試食を取り入れた集団指導も実施いたしました。

重点対策の1つ目2つ目につきましては、来年度も今年度同様に取り組んでまいります。

重点対策の3つ目、「感染症予防の推進」では、追加でお渡ししている報道発表の資料にもありますが、今年度急速な流行がみられた風しんの拡大を防ぎ、妊娠中等の女性への感染予防を推進し、市民が安心して出産ができる環境を整えることを目的として、風しん等の予防接種費用助成事業を平成30年8月14日より実施いたしました。

この事業は平成31年3月31日までに接種した方を対象とし、妊娠を予定、または希望している女性とその配偶者、妊娠している女性の配偶者を対象者とし、風しんワクチンでは3,000円、麻しん風しん混合ワクチンでは5,000円を上限として、費用助成を行っております。

今後、国が39歳から56歳の男性を対象に、平成34年3月31日までの時限措置として、風しんの定期予防接種事業を行う予定となっておりますが、女性や対象年齢に合わない男性への助成については、国や近隣市の動向を踏まえて、今後検討してまいります。

また、今年度も継続して「新型インフルエンザ等対策行動計画」に基づくマニュアルの見直しを行い、平成30年7月には「新型インフルエンザ等住民接種マニュアル」を関係機関と調整し作成いたしました。来年度も、マニュアルの見直しを全庁的に実施いたします。

次に、《地域づくりを支える医療について》ですが、今年度は、こどもから高齢者まで、自分や家族に合ったかかりつけ医を持ち、住み慣れた地域で安心して暮らすことができることを目的とし、近郊地域までの医療機関情報を定期的に収集し、発信、提供する「かまがや安心医療ナビシステム」を11月末に開設いたしました。地図から診療科目を選択し、絞込検索ができるシステムとしては、県内自治体で初のシステムです。別添の、鎌ヶ谷市報道発表資料をご覧ください。

このシステムは11月30日より開設しており、キーボードを使わずにマウス操作のみで検索が可能となっております。また、パソコンだけでなく、スマートフォンや携帯電話での検索も可能です。

検索できる範囲としては、鎌ヶ谷市役所から半径5キロメートル圏内の医療機関で、鎌ヶ谷市の全域と、船橋市、柏市、松戸市、市川市、白井市の一部となっております。このシステムは、今後、市が情報を定期的に更新し、市民に提供してまいります。

また、千葉県災害医療救護計画に基づき、鎌ヶ谷市の衛生医療班マニユ

アルを改訂し、医療救護関係者の打合せ会では、発災時における連絡方法等の確認や災害時の机上訓練を関係者間で行い、役割の確認を行いました。

さらに、災害時における歯科用品及び医薬品等の供給協力に関する協定を大東京歯科用品商協同組合（千葉県支部様）と平成30年7月1日に締結いたしました。

つづきまして、保健目標のページをご覧ください。昨年度の本協議会におきまして、保健目標の中で数値が出るものについては、会議の報告に盛り込むというご意見をいただきましたので、追加いたしました。

ここで、資料の訂正をさせていただきます。保健目標の上から4番目、極小体重児の平成29年度の値が0.8パーセントとなっておりますが、0.3パーセントの間違いでした。お手元の資料の訂正をお願いいたします。

保健目標につきましては、おおむね、目標数値に近づいております。12歳児の永久歯の虫歯と歯肉炎の割合については平成21年度と比較して、減少してきておりますが、目標には届いておりません。今後も、目標に近づけるよう取り組んでまいります。

青壮年期・高齢者の保健目標につきましては、計画策定当初と基準値が変更となったものもございます。また、平成29年度の欄に記載のある数値は、国保のデータベースより抽出したものとなっているため、計画策定時との数値の比較はできませんが、今回は参考ということで添付させていただきました。

平成26年度と比較し、女性の肥満者の割合や高血圧者の割合、糖尿病有病者の割合が増加しているため、それらを減少させるような支援を検討していきたいと考えております。

以上、第二次いきいきプラン・健康かまがや21の主な進捗状況となります。

この計画は、引き続き推進を続けてまいります。平成32年度の第3次計画策定に向け、国や県の計画を踏まえて、来年度市民意識調査を実施する予定となっております。調査内容等は、今後、協議会委員の皆様にご意見をお伺いし、決定させていただきたいと考えております。協議会委員の皆さまのご協力をお願いいたします。

石川会長： それでは、ただ今の「第二次いきいきプラン・健康かまがや21」の進捗状況についてご意見、ご質問等ございますか。

赤井委員： むし歯はある程度減少してきているので、きちんと噛める、摂食、嚥下などの機能の問題に注意していかなければならないと考えています。噛むことや歯周病対策にも力を入れていくべきではと思います。

保健目標で12歳児のむし歯が0.99本とありますが、報告では0.34本となっております。

事務局： 先日の学校歯科研究協議会で報告させていただいたのは小学6年生の数値です。保健目標は12歳児ですので中学1年生になります。

赤井委員： 小学6年生と中学1年生でそんなに大差はないと思うので、精査をお願いします。むし歯に関しては、やはりハイリスク児の対応をしていかなければいけないのではと思います。

石川会長： 鎌ヶ谷市はフッ化物洗口に力を入れており、むし歯の減少に効果が出ているということで、船橋歯科医師会の先生方のお力添えのおかげだと思います。素晴らしいことですね。

滝口委員： 10年間の計画ということですが、中間報告はないのでしょうか。

事務局： 計画策定時に、中間評価を行わないということで作成しています。

赤井委員： 今後、睡眠の指標や心の問題も考えていかなければいけないかなと思います。学校保健委員をしているのですが、小学生の睡眠は10時間程度と言われていますが、今は10時以降に寝るこどもも多く、生活リズムが変わってきていて、ゲームやスマートフォン依存などの問題もあり、心のケアが必要になってきています。こういったことは睡眠にも影響してきます。

郷右近代理： がん対策のところで、子宮がん検診で約1,000人増加し、時期をずらしたと説明がありましたが、具体的にはどのようにされたのでしょうか。また、要精検の方にはどのような対応をしているのでしょうか。

事務局： これまでは、4月から3月までの通年にしていたものを、50音順ですが4月から8月と9月から1月の2つに分けました。増加した理由は現段階では推測ですが、通知から終了までが短かったこと、期間が短くなった分受診勧奨を行ったことが影響していると考えられます。

子宮がん検診の精密検査の結果は医療機関からの通知なので、今後、医療機関に問合せをかけて、結果の把握に努めていきたいと思います。

石川会長： ほかにご意見、ご質問等ございますか。

### (3) 第2次鎌ヶ谷市食育推進計画及び食育推進部会の平成30年度事業実績及び平成31年度事業計画(案)について

石川会長： 次に議題3、食育推進部会の平成30年度事業実績及び平成31年度事業計画(案)について説明をお願いします。

事務局： 食育推進部会事務局から、平成30年度事業の報告及び平成31年度事業の説明をいたします。

まず、平成30年度事業についてご報告いたします。資料3をご覧ください。

1の会議です。4月25日、11月7日に行い、第3回目を2月21日実施予定です。内容は、第1回が平成29年度事業の報告、平成30年度事業の検討、第2回が1月実施の食育まつりのコンクール審査と打ち合わせ、平成31年度事業計画についての話し合いを行いました。第3回では、平成30年度事業のまとめと平成31年度事業計画について話し合いをする予定です。また、会議

内では、分野における第2次鎌ヶ谷市食育推進計画の進捗状況を共有しました。

2の研修会、勉強会です。研修会は6月27日に行い、第1回の会議内での委員の希望により外部講師を依頼しての研修会ではなく、分野間の理解を深めることを目指し、各分野の取組紹介と質疑応答を行いました。勉強会は、第2次鎌ヶ谷市食育推進計画の評価方法と第3次鎌ヶ谷市食育推進計画の策定に向け、千葉県立保健医療大学の荒井先生と海老原先生にお願いできることになり、12月20日に打合せを行いました。2月15日及び3月14日で具体的にご指導をいただく予定です。

3のイベント「みんなの食育まつり～野菜を食べよう大作戦！～」の開催です。今年度のコンクールは「鎌産鎌消！朝食メニューレシピコンクール～」と「みんなで食べよう！～食べる喜び写真コンクール～」を開催しました。朝食メニューレシピコンクールでは、一般の部18点、こどもの部139点、写真コンクールでは一般の部4点の応募がありました。入賞者は資料のとおりです。

イベントは子どもから大人までが参加できるイベントということで、総合福祉保健センターの3階調理室と6階大会議室を使い、講演、調理実習、食育クイズ、展示を行いました。講演は鎌ヶ谷市朝市組合組合長の石原氏にお願いし、「いまどきの農業について」、野菜の保存方法や新鮮な野菜を食べる意義などを教えていただきました。調理実習は鎌ヶ谷高等学校料理研究部にお願いし、「鎌ヶ谷産食材を使ったこどものおやつ」としてチーズ明太子大根もち、人参ポンデケーキの実習を行いました。参加者は合計で181名でしたが、小中学生と小中学生保護者世代の参加が例年に比べて増加しました。

4のその他として、朝食メニューレシピコンクールの応募作品をまとめたレシピ集を作成し、来場者及びコンクール応募者やコンクール周知にご協力いただいた学校、保育園、幼稚園に配布いたします。また、食育推進部会において、朝食メニューの活用についても検討していきたいと考えています。

続いて、平成31年度事業についてご説明いたします。

会議は、平成32年度に第3次鎌ヶ谷市食育推進計画を作成するにあたり、平成31年度には市民アンケートの実施がございませう。そのため、アンケートの項目の検討、アンケート結果からの分析などを行う必要があることから、例年の3回から5回となっています。日程は4月10日、6月4日、10月31日、2月12日、3月16日の予定です。研修会は8月9日、食育まつりは1月18日の予定です。

平成31年度のイベントについては、今年度のイベントが1月19日に終了しましたので、それを踏まえ、次回2月の食育推進部会で詳細を検討する予定です。内容は例年どおりコンクールとイベントの実施を予定しております。

食育推進部会の平成30年度事業報告と平成31年度事業計画のご説明は

以上です。

石川会長： ただ今の食育推進部会からの報告について、ご意見、ご質問等ございますか。

石川会長： 実際には試食等したのでしょうか。

事務局： レシピは一般の部最優秀賞1点、こどもの部最優秀賞2点を1月19日の食育まつりで食生活改善協議会のご協力をいただき、試食配布しました。

石川会長： 評判は良かったですか。

事務局： レシピは夏頃の募集したもので、梨や夏野菜を使ったものも多かったですが、農家の方のご協力をいただき、梨も使う事ができたので、応募して下さった方には喜んでいただきましたし、来場された方にはおいしく召し上がっていただけたと思います。

滝口委員： 調理実習で鎌ヶ谷高等学校の料理研究部の方にお問い合わせしたのは、初めてでしょうか。こちらから声かけをしたのでしょうか。

事務局： 商工振興課で作成している鎌ヶ谷おもてなしレシピブックに料理研究部がメニューの提供しているのを見て、お問い合わせなどと思いお願いしました。

食育まつりで調理実習をするのも初めてでしたが、料理研究部の皆さんは呼ばれて実習をするのは初めてではないようですが、講師という形では初めてだと聞いています。

滝口委員： ホームページで写真を拝見したら、高校生にとってもよい経験になったかなと思いました。どうやってお願いすることになったのか興味があったのでおうかがいしました。

石川会長： 平成31年度も頑張ってください。

#### (4) その他

石川会長： それでは、本日の議題の全体を通して何かご意見ございますか。

では、議題4その他で事務局何かありますでしょうか。

ございません。

皆様、円滑な運営にご協力いただきありがとうございます。また、事務局においては、今日の貴重なご意見を参考に計画を進めていただけるようお願いをいたします。これで、議長の役を終わらせていただきます。

事務局： 皆様、お忙しい中出席いただきまして、ありがとうございます。これで、本日の会を閉じさせていただきます。

閉 会

会議録署名人の署名

以上、会議の経過を記載し、相違ないことを証するため、次に署名する。

平成31年2月26日

署名人 今市 由美子

署名人 林 宏幸